

《担当者名》木浪智佳子 kinami@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

家族の多様なあり方と家族看護の基本的な姿勢を理解する。さらに、家族を構造的および機能的にとらえる視点や家族看護に役立つ理論を活用し、家族を単位とした看護について学ぶ。

【学修目標】

1. 家族の多様性および健康な家族について説明できる。
2. 家族看護に役立つ理論を説明できる。
3. 紙上の事例を通して家族を単位とした看護過程を展開することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	家族看護の理念	家族とは、健康な家族とは 家族看護の目的と援助の基本的姿勢	木浪
2	家族をとらえる視点	家族の構造と機能 (ジェノグラム、エコマップ)	木浪
3	家族看護に役立つ理論	家族システム理論 家族ストレス対処理論 家族発達理論	木浪
4	家族を単位とした看護過程の展開	家族の情報収集とアセスメント 家族の看護問題と看護計画	木浪
5	疾患をもつ小児とその家族の看護 (1)	事例に基づく看護過程の展開 -情報の整理とアセスメント-	木浪
6	疾患をもつ小児とその家族の看護 (2)	事例に基づく看護過程の展開 -看護問題と看護計画-	木浪
7	在宅療養者とその家族の看護(1)	事例に基づく看護過程の展開 -情報の整理とアセスメント-	木浪
8	在宅療養者とその家族の看護(2)	事例に基づく看護過程の展開 -看護問題と看護計画-	木浪

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ワークシート100点

【教科書】

上別府圭子他：系統看護学講座別巻，家族看護学，医学書院，2018．

【参考書】

鈴木和子，渡辺裕子，佐藤律子：家族看護学，日本看護協会出版会，2019．

中野綾美，瓜生ひろ子：家族看護学 - 家族のエンパワーメントを支えるケア，メディカ出版，2020．

【備考】

Google Formを使用した出席確認および授業内容の理解度の確認を行う。

【学修の準備】

1. 授業開始時に行う前回提出したワークシートのフィードバックをもとに自己の学修状況を振り返るとともに、今回の授業の内容に対応した教科書の該当部分を再読する。(復習1時間)
2. 次回の授業範囲に該当する範囲の教科書を読了する。(予習1時間)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身に付けている。

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身に付けている。

【実務経験】

木浪智佳子(看護師)

【実務経験を活かした教育内容】

実務経験に基づき、家族を単位とした看護について講義する。